

2010年10月21日

各 位

南山大学経営研究センター
センター長 願興寺皓之
企画責任者 澤木勝茂
竹澤直哉

「南山横国ファイナンス・ワークショップ」のご案内

経営研究センターでは下記の要領で横浜国立大学との共同ワークショップを開催いたします。詳細は随時、南山大学経営研究センターのホームページ(<http://www.nanzan-u.ac.jp/MCENTER/>)上で更新しますのでご確認をお願いいたします。

記

日 時 : 2010年11月13日(土)13:00 ~ 17:30
18:00 ~ 懇親会(場所:グランピアット 山手通店) 会費 4,000 円
11月14日(日) 9:00 ~ 12:20
場 所 : 南山大学(名古屋キャンパス) **J棟(情報センター) 特別合同研究室(1階)**
<http://www.nanzan-u.ac.jp/Information/access.html#01> (交通経路)
http://www.nanzan-u.ac.jp/Information/navi/nagoya_main.html (キャンパスマップ)

11月13日(土)

司会: 未定 (南山大学)、西出勝正(横浜国立大学)

(報告1) 13:00 14:00

松井宗也(東京大学)

タイトル: Prediction in a Poisson cluster model (joint work with Thomas Mikosch)

(報告2) 14:10 15:10

林高樹(慶応大学)

タイトル: 未定

(報告3) 15:20 16:20

田園(首都大学東京)

タイトル: Investment and Capital Structure Decisions of Foreign Subsidiary with International Debt Shifting and Exchange Rate Uncertainty

(報告4) 16:30 17:30

伊藤有希(横浜国立大学)

タイトル: Default Timing and Recovery Rate

(懇親会) 18:00 20:00

11月14日(日)

司会: 倉澤資成(横浜国立大学)

(報告1) 9:00 10:00

池田亮一(南山大学)

タイトル: 耐久消費財を導入した消費 CAPM による利子率の期間構造の分析

(報告2) 10:10 11:10

前田章(京都大学)

タイトル: 不動産価格評価の枠組みと政策的含意

(報告3) 11:20 12:20

藤原浩一(同志社大学)

タイトル: 未定

[報告要旨]

11月13日(土)

(報告1) 13:00 14:00

Muneya Matsui (joint work with Thomas Mikosch)

タイトル: "Prediction in a Poisson cluster model"

(要旨)

We introduce a Poisson cluster model which is motivated by insurance applications. The model is composed of a homogeneous Poisson process and a sequence of iid cluster processes. At each arrival point of Poisson process we start a cluster process, which represents the number or amount of payments generated by the arrival of a claim in a portfolio. The cluster process is a Levy or truncated Poisson process. Given the observations on the process over a finite interval we consider the expected value of the number and amount of payments in a future time interval. We also give bounds for the error encountered in this prediction procedure. If we have extra time, we show some of our ongoing work.

(報告2) 14:10 15:10

林高樹(慶応大学)

タイトル: 未定

(要旨)

(報告3) 15:20 16:20

田園(首都大学東京 日本学術振興会外国人特別研究員) 共著者: 木島正明(首都大学東京)

タイトル: "Investment and Capital Structure Decisions of Foreign Subsidiary with International Debt Shifting and Exchange Rate Uncertainty"

(要旨)

This paper examines the impact of international debt shifting and exchange rate uncertainty on investment and capital structure decisions of foreign subsidiary. We find that debt shifting induces earlier investment, earlier default, higher leverage, and larger firm value of foreign subsidiary. When debt shifting is not so costly, the optimal leverage of foreign subsidiary increases as the tax rate differential increases. Moreover, when the correlation between exchange rate and foreign cash flow uncertainties is positive (negative, respectively), foreign investment advances as exchange rate uncertainty decreases (increases) as well as the correlation increases. These results reveal that the impact of debt shifting and exchange rate uncertainty on investment and capital structure policies cannot be ignored, supporting existing empirical findings.

(報告4) 16:30 17:30

伊藤有希(横浜国立大学)

タイトル: Default Timing and Recovery Rate

(要旨)

近年、クレジットリスクマネジメントにおいて、マクロ経済学的な観点からデフォルト確率と債権回収率の関係性を計量することが重要な問題となっている。しかし、個々の企業のデフォルトタイミングと回収率に関する研究は存在しない。本研究では構造モデルのフレームワークを用いて1企業の債権回収率とデフォルトタイミングをモデル化した。さらに、利子や回収コストがかかる場合の貸し手にとって最適なデフォルト行使戦略を導出した。

11月14日(日)

(報告1) 9:00 10:00

池田亮一(南山大学)

タイトル: 耐久消費財を導入した消費CAPMによる利率の期間構造の分析

(要旨)

本発表では、耐久消費財を導入した消費CAPMによって、均衡利率の期間構造を導く。耐久消費財の消費成長率は景気変動と強い正の相関を持つことから、モデルに耐久消費財を導入することによって、景気変動と実質利率が関連付けることができる。モデルでは、耐久材と非耐久材の代替弾力性が異時点間の代替弾力性を上回る場合に、景気変動と正の連動性を持つように(pro-cyclical)変動し、かつ平均的に右下がりとなるイールドカーブが生み出される。イールドカーブのこのような性質は、英国の実証結果と一致する。

(報告2) 10:10 11:10

前田章(京都大学) 共著者: 石島博(中央大学)

タイトル: 不動産価格評価の枠組みと政策的含意

(要旨)

不動産取引には、他の一般的な財には見られない免許制や鑑定制度が存在し、その市場は、ある意味で専門性の高い取引市場になっている。そのため、他の一般的な財には見られない専門用語や分析手法も多い。また、学問的にも、一般的な経済理論やファイナンス理論とは一種変わった独自の分野を形成している。

一方で、それらを理論づける体系は十分に整備されているとは言い難い。実務で頻繁に使われる価格評価手法が通常の経済理論やファイナンス理論の用語に直すと一体何に相当するのか、しっかりと説明する理論書や論文はなかなか見当たらない。

本論文では、こうした不動産取引の実務と研究の实情に鑑み、実証研究の基礎となる包括的で一般性の高い理論体系の構築を試みる。

(報告3) 11:20 12:20

藤原浩一(同志社大学)

タイトル: 未定

(要旨)

以上